

◎ 山梨県スポーツ推進計画の進捗状況

山梨県スポーツ推進計画第5章2の計画の進行管理に基づき、令和2年度における計画の進捗状況（数値目標達成状況）について、次のとおり公表します。

基本方針Ⅰ（子供のスポーツ機会の充実）

政策項目	指 標	2018年度 (平成30) の値	2020年度 (令和2) の現況値	2023年度 (令和5) の目標値
1	①「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における授業以外でほとんど毎日（週420分以上）運動やスポーツを実施している児童の割合（小5）	男子 56.9%	男子 —	男子 59%
		女子 34.0%	女子 —	女子 37%
	②「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における児童の体力合計点の全国体力合計点との比較（県平均/全国平均）×100（小5）	男子 98.9%	男子 —	男子 100%
		女子 99.1%	女子 —	女子 100%
2	平日1日と土日どちらか1日を休養日としている部活動顧問の割合（中学校・高校）	中学校 平日 80.4% 土日 93.2%	中学校 平日 84.5% 土日 96.1%	中学校 平日 100% 土日 100%
		高校 平日 79.0% 土日 80.9%	高校 平日 81.3% 土日 85.8%	高校 平日 90%超 土日 90%超

○ 学校、地域、家庭において、子供が運動を楽しむ機会を充実させ、運動の日常化を図りながら体力の向上を目指している。

[1-①]

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、調査が実施できなかった。

[1-②]

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、調査が実施できなかった。

[2]

- ・ 県・市町村教育委員会及び各学校が策定したガイドラインに基づき、休養日の設定に取り組んだ結果、平日、土日とも割合が上昇し、改善がみられた

基本方針Ⅱ（健康教育の充実）

政策項目	指 標	2018年度 (平成30) の値	2020年度 (令和2) の現況値	2023年度 (令和5) の目標値
1	全国体力・運動能力、運動習慣等調査における「朝食を食べない日が多い」「食べない」児童生徒の割合（小5、中2）	小5男子 2.2% 小5女子 1.4% 中2男子 4.8% 中2女子 3.9%	小5男子 — 小5女子 — 中2男子 — 中2女子 —	小5男子 2.0% 小5女子 1.3% 中2男子 4.6% 中2女子 3.5%

○ 子供たちの望ましい生活習慣の定着を図るため、学校関係者と連携・協働しながら、学校保健、学校給食、食育等の充実に取り組んでいる。

[1]

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、調査が実施できなかった。

基本方針Ⅲ（若年期から高齢期までライフステージに応じた生涯スポーツの推進）

政策項目	指 標	2018年度 (平成30) の値	2020年度 (令和2) の現況値	2023年度 (令和5) の目標値
1	過去1年間に一度も運動・スポーツを実施しなかった人の割合	20.3%	24.9%	10%
2	総合型地域スポーツクラブに関する実態調査におけるPDCAサイクル(※)により運営の改善等を図っている総合型地域スポーツクラブの割合	30.4%	23.1%	70%

※PDCAサイクルとは、法人などの組織の事業活動でPlan(計画)、Do(実行)、Check(評価)、Action(改善)を繰り返しながら業務を継続的に改善していく手法。

○ 誰もが生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現し、県民一人ひとりが年齢や興味、関心、適性などに応じた生涯スポーツに取り組めるよう支援している。

[1]

・ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、スポーツへの参画機会の減少や自宅での自粛期間等が長引いたことにより、未実施率が増加に転じた。一方、健康への意識が高まっている傾向にあることから、市町村や各種団体と連携し、身近な地域スポーツに参加できる機会の創出に取り組んだ。

[2]

・ 総合型地域スポーツクラブの様々な活動が、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中止または延期となったため、運営改善までには至らなかった。そこで、県広域スポーツセンターによる市町村訪問や各クラブの個別相談に応じるなど、クラブの質的充実に取り組んだ。

基本方針Ⅳ（競技力の向上）

政策項目	指 標	2018年度 (平成30) の値	2020年度 (令和2) の現況値	2023年度 (令和5) の目標値
1	①ターゲットエイジを対象とした発掘・育成事業を実施している競技団体の割合	36.6%	80.5%	100%
	②国民体育大会における天皇杯得点と順位	803点	—	900点
		36位	—	20位台
2	競技力向上に係る優秀な若手指導者を育成・強化している競技団体の割合	24.4%	48.8%	100%

○ スポーツ関係団体と連携し、次世代アスリートの発掘・育成を進めるとともに、指導者の養成を進め、ジュニアからトップレベルに至る一貫指導体制の構築を図っている。

[1-①]

・ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、一部の事業は中止となったが、各競技団体において、感染症対策を実施しながらスポーツ教室を実施するなど、次世代アスリートの発掘育成に取り組んだ。

[1-②]

・ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年度の国民体育大会は中止となった。

[2]

・ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、一部の公認指導者講習会は中止となったが、実施方法をオンラインに変更するなどにより、若手指導者を育成・強化している競技団体の割合は増加した。